くまざわ書店蕨錦町店

セルフレジ高い利用率

導入2カ月　土・日 75%　平日 67%

くまざわ書店蕨錦町店（埼玉・蕨市）で導入しているセルフレジの利用率が土・日曜日で約75%、平日で約67%と高い水準で推移している。4月24日の開店時から2台を設置。精算するスピードを高める目的から、同店スタッフがサポートする「セミセルフ型」のオペレーションが奏功している。熊沢宏専務は客を待たせず、レジ精算業務を効率化させるモデル店として位置づけ、今後導入店を増やしたいと話している。

セミセルフ型でスピード精算

同店は4月、商業施設であるビバモールの2階に、売場面積200坪で新規出店。レジ台には、光和コンピューターが開発したセルフレジ「KPOSセルフ」2台と、「スタッフレジ」1台を用意した。

書店には品揃え、客注、接客など様々な読者サービスがあるが、「混雑時に、いかに早く精算するか」も重要だ。決済方法が多様化するなかで、ストレスなく本や文具を購入できるようにセルフレジを導入したという。書籍用のブックカバーは無料だが、有料のビニール袋や紙袋も用意している。

「KPOSセルフ」は現金、クレジットカード、各種PayのQRコード、電子マネー決済が可能。図書カードも近く対応できるようになるという。

セルフレジ2台、スタッフレジ1台が設置

現在、同店ではスタッフが本のバーコードを読み取り、ブックカバーなどの有無を聞いて対応し、本を手渡す。客はレジに入金して、レシートを受け取るだけ。セルフレジの操作に慣れた客は、この全工程を自分で行うこともできる。蕨錦町店のセミセルフ型の精算業務は、従来型よりスムーズで、売上げも好調であるという。

今年2月には田町店（東京・港区）でも導入している。

熊沢専務は現行オペレーションをバージョンIとし、将来的に客が自分でバーコードを読み取るバージョンII、スタッフが客の横に立って手伝うバージョンIII、完全フルセルフのバージョンIVへの移行も視野に入れている。

客のなかには、購入後の本をブックカバーも紙袋も使用せず、むき出しにしたまま持って、再度店内に戻っていく人もいる。万引犯と誤認しないよう、スタッフがブックカバーや紙袋に入れるオペレーションが欠かせないという悩ましさもある。

光和コンピューターでは、アルバイト1人が2年半従事した人件費に相当する費用で、セルフレジ2台が導入できると試算。書店が負担にならない価格で提案している。

コロナ禍で、「社員に有給休暇をとらせたい」「アルバイトが集まらない」という書店が増えるなか、同社にはデモンストレーションを希望する書店が多くあるという。

トップカルチャー

減収減益の中間決算

「書籍」売上げ2.2%減

トップカルチャー（新潟）はこのほど、2021年10月期第2四半期（20・11・1～21・4・30）の連結決算を発表した。

売上高は145億9300万円（前年同期比8・6%減）、営業利益2億0400万円（同40・6%減）、経常利益2億0300万円（同45・9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億5700万円（同51・6%減）の減収減益で折り返した。

期中は、前年にマスクなど衛生用品の売上げが伸長した反動や、1月中旬の記録的な大雪による交通障害、レンタル事業の不振などにより「蔦屋書店事業」全体の売上げは同8・8%減となった。既存店の売上高は同6・4%減。

「書籍」の売上げは同2・2%減の82億2300万円だが、既存店においては同0・5%増と健闘し、売上構成比を57・8%（同3・9ポイント増）に高めている。

セルフレジの利用促進や店舗オペレーションの見直しなど業務効率化を図り、販管費を同0・2%減少させたが、レンタルからライフスタイル売場への変更に伴う改装費がかさみ、利益を圧迫した。

同社では、既存14店舗で日用品や家庭用品を導入。今後はコワーキングスペースの拡大も図る。

こうしたライフスタイルへの改装効果が寄与し始める第3四半期は、大幅な増益になると見込んでいる。

通期予想については、緊急事態宣言などで厳しい経済環境の影響が少なからずあるため、予測可能な時点で公表するとしている。

「はらぺこあおむし」風刺画に引用

偕成社 今村社長「不適当」と批判

毎日新聞の掲載記事で

偕成社は6月5日付の毎日新聞朝刊に掲載された風刺画「エリック・カールさんを偲んで…　はらぺこIOC食べまくる物語」に対し、同7日付で同社ホームページに今村正樹社長がこれを批判する意見文書を掲載。テレビやネットニュースなど様々なメディアが取り上げて波紋が広がった。

風刺画には、同社が刊行するE・カール作『はらぺこあおむし』のあおむしに、国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長ら3人が擬され、放映権と書かれた「ゴリンの実（リンゴ）」をむさぼる図が描かれた。

これに対して今村社長は「風刺の意図は明らかで、その意見については表現の自由の点から異議を申し立てる筋合いではない」としつつ、この絵本の楽しさは、あおむしの健康的な食欲とそれに共感する子どもたちの成長への欲求にあり、「金銭的利権への欲望を風刺するにはまったく不適当」であると記した。

そして、出版に携わる者として表現の自由、風刺画の重要さを信じるがゆえに、引用する作品に対する作者・編集者の理解のなさ、不勉強を残念に思う。日本を代表する新聞の一つとしての猛省を求めたいとも述べた。

偕成社には「よく言ってくれた」という賛同の一方で、「言い過ぎではないか」など、賛否の声が寄せられた。

毎日新聞社では、6月10日に編集局の関係者が偕成社を訪れ、話合いの場をもった。その内容を新聞社側が持ち帰り、対応を検討するという。

図書館委員長に黒田拓也氏

書協理事会　成瀬雅人氏は副委員長に

日本書籍出版協会はさきごろ、今年度1回目の通常理事会と評議会を開催。図書館委員会において、黒田拓也副委員長（東京大学出版会）が委員長に、成瀬雅人委員長（原書房）が副委員長に就いた。シュプリンガー・ジャパン、高陵社書店、彩流社が退会した。

また、国立国会図書館からの「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」への参加の要請を受け、「読書バリアフリー法に対応するアクセシブル・ブックス委員会」の田中敏隆委員（小学館）を派遣することを決めた。

映像産業振興機構（VIPO）と共同運営している、日本の出版コンテンツの海外向けカタログサイト「Japan Book Bank」については、5月19日にVIPO主催で開催したオンライン説明会を、出版社を中心に200人超が視聴したと報告した。後日配信を希望する人も約160人いるという。

現状、国内登録数は約60社・約800点で、海外の出版関係者を中心とするID登録者は110人超。上位3カ国はアメリカ、韓国、フランス。登録業種は、出版社63%、エージェント13%、映像制作会社6%。

理事会ではさらに、授業目的公衆送信等補償金管理協会（SARTRAS）の事業について報告。今年4月1日から同補償金の有償運用が始まった。

昨年度中に授業目的公衆送信を行う教育機関（設置者）1658件からの1万7906校の届出を受理。補償金の分配方法はSARTRAS・出版教育著作権協議会で検討中で、著作権等管理事業（SARTRASライセンス）の開始は22年度になる予定である。

「著作権法の一部を改正する法律案」が5月26日に参議院本会議で可決・成立したことを受け、関係者協議会が立ち上がる見込み。書協など出版団体からも委員を派遣する予定という。

風信

ボンヤリ　モヤモヤ

長谷川　静子

アマゾンがアメリカにリアル書店を開業し、5年以上が経つ。だが、アマゾンが日本に上陸した2000年から、私はボンヤリとわかっていた。リアル書店・ネット書店が普段使いの言葉になり、ネット書店が実店舗を設けて本を売り始めると。

当店の隣には現在、JR茅ヶ崎駅の駅ビルであるラスカがあり、市の境に湘南テラスモール、隣町にららぽーと、市内にはイオンもある。いずれの商業施設にも書店が入っており、大きな館はそれだけで人を引き寄せる。そして世の中は、ネット社会へ。

今は新型コロナウイルスのパンデミックにより、日本も世界も非常事態である。

トレーションを希望する書店が多くあるという。

商環境の変化は当店を厳しくさせるばかりだ。

そうしたなか、真に必要とされる書店とは何か。社会や街にとって、どんな存在であるべきか。「街の書店の存在価値」という毎日突きつけられる問いに、どう答えていけばいいのか。

長谷川書店は1947年創業、家族で苦難を乗り越えてきた。私は92年4月に、ネスパ茅ヶ崎店の開店に伴い、家業に入る。ネスパ茅ヶ崎店は、市の駅前再開発に協力したことで、街の一商人が政治的な争点に巻きこまれもした。相当な覚悟で開店に至った店である。私は長谷川書店の心意気を伝え、それをもち続けるために経営理念を明文化した。

「長谷川書店は知的文化の情報発信基地をめざします。書籍・雑誌の販売を通じて、茅ヶ崎市民をはじめとする地域の皆さまに、文化と情報と感動をお届けすることにより、毎日の暮らしや社会が、より一層明るく豊かになるよう貢献します」

知的とは、知的文化とは、文化情報とは――。ひとつのフレーズをいくつにも分けて、組み合わせて、考えていけば、一冊一冊の本の陳列場所が見えてくる。自分たちの利益だけを考えるのではなく、人のためになることをすれば、大きな信頼につながるのではないか。今では、情報の種類も意味も大分異なるが、この理念を曲げることなく経営していきたい。

世界も日本も、持続可能な開発目標「SDGs」を掲げ、2030年までの達成を目指している。未来を考えることは、経営者にとっても至極当然のこと。2030年を世界のゴールや期限と思わず、私も「自分ごと」として、どんな社会に、どんなお店にしたいのかを想像しながら、行動していく。

2030年まで10年足らず。SDGsを道具（ツール）として、街の書店が縮小せず、均衡を保つだけではなく、成長する術はないのだろうか。いまは正体が掴めず〝モヤモヤ〟するばかりだが、何とかスッキリさせたい。

（長谷川書店ネスパ茅ヶ崎店店長）

MYAnimeList第三者割当増資

KADOKAWAなど4社も引受先

メディアドゥの子会社であるMYAnimeListが2月に発表した総額12億円の新株発行による増資について、新たにKADOKAWA、DMM.com、㈱アカツキ、㈱アニメタイムズ社が計3億1100万円の第三者割当方式による引受先となることが決まった。2月18日には講談社、小学館、集英社、メディアドゥが計6億円を引き受けることを発表していた。財務基盤の強化、積極投資によるサービス規模拡大を加速させるべく、引き続きアニメ・漫画IPに関連した事業者を中心に外部資本の受入れと協働の可能性を追求。より理想的なファンコミュニティとデータベースの形成に注力していく。

アニメ・漫画コミュニティサービス「MYAnimeList」では今後、現行サービスの改善に加え、各種デジタルコンテンツ配信やNFT（非代替性トークン）を活用したデジタルファンアイテムの提供などに取り組む。

日販／NLS

川口営業所を開設

運送会社4社で共同運営

日本出版販売と日販物流サービス（NLS）はさきごろ、運送会社4社（NLS、出版輸送㈱、愛知陸運㈱、他1社を予定）が共同運営するデポとして、NLS川口営業所（埼玉・川口市）を開設した。

同営業所は、以前まで日販の週刊誌送品拠点だった入谷営業所（同）を昨年10月に撤収し、建屋・設備を一部リプレイスしたもの。都内近郊向け配送拠点として活用していく。

倉庫・設備の共同利用により、拠点維持費用の削減や、集荷・仕分・返品処理の効率向上を目指す。日販では今後、同営業所において作業共同化に対応した出荷などに取り組むことで、参画運送会社が抱える作業員不足などの課題解決やコスト削減が可能となり、配送網の維持・安定を実現できると見込んでいるという。

静岡の書店大商談会 中止

「静岡書店大賞」は実施

静岡書店大商談会実行委員会はこのほど、第5回「しぞーか本の日―書店大商談会」を中止することを決めた。

また、静岡書店大賞事務局は第9回「静岡書店大賞」の授賞式を中止するが、オンラインで発表するなど、かたちを変えて運営する。

静岡書店大賞の投票期間は、9月15日から同30日。対象となる本は、2020年9月から21年8月末日までに刊行された日本の小説、文庫、児童書。

児童書については新作とロングセラー部門に分け、計4部門で大賞作品を決める。

12月7日に発表し、県内の書店や図書館でフェアを行う。事前に、取次会社から専門注文書や飾付けセットが送付される予定。

問合せは、同事務局で副事務局長を務める丸林篤史氏（谷島屋）と吉見佳奈子氏（吉見書店）まで。

アバンティブックC

BFに事業譲渡

アバンティブックセンターは7月1日付で同社の事業をブックファーストに譲渡する。

6月30日までの債権債務はアバンティブックセンターが対応して精算する。7月1日以降の請求書はブックファーストまで送付するよう取引関係者に書面で案内した。

アバンティブックセンターとアミーゴ書店の屋号はそのまま継続して使うという。

八谷　智範氏（やたに・とものり＝すばる舎前社長）　6月5日、埼玉県内の病院で死去した。69歳。

故人の遺志により、通夜および葬儀は近親者のみで営まれた。後日、「お別れの会」を執り行う予定。

増刷続々！光文社文庫で読む

西條奈加

痛快エンターテインメントあり、市井の人々の気概をいきいきと描き上げた力作あり――西條奈加が紡ぐ、傑作時代小説の数々!!

直木賞受賞後初文庫！西條奈加の最高傑作

大反響

無暁の鈴（むぎょうのりん）

発売たちまち5刷！

貧困、天災、疫病、飢餓――生きるため、人を救うためにあがき続けた男・無暁。その波瀾万丈の生涯を描く。●858円

イラスト／水口理恵子

『猫の傀儡（くぐつ）』
失踪した先代の後を継いで〝傀儡師〟となった野良猫のミスジは、狂言作者の阿次郎と次々依頼をこなすが……。●726円

あなた、もしかして、猫に遣われていませんか？

第18回中山義秀文学賞受賞作

『涅槃（ねはん）の雪』
天保の改革の下、お上の苛烈な締め付けに立ち向かう与力・高安門佑は、元遊女のお卯乃と同居することになり……。●726円

『ごんたくれ』
天才絵師をモデルに、鮮やかな筆致で描き出された〝表現者〟の矜持と苦悩、歓喜と孤独。●858円

『烏金（からすがね）』
長編時代小説
借金に苦しむ貧乏人たちを新しい発想で助ける浅吉には、ある秘密が。痛快時代エンターテインメント小説！●660円

『はむ・はたる』
連作時代小説
掏摸やかっぱらいで食いつなぐ暮らしを改めて、まっとうな商売を始めた、勝平ら十五人の孤児たちの奮闘！●616円

光文社文庫　光文社 東京都文京区音羽1-16-6 www.kobunsha.com/
※表示価格は税込みです。